

2009年度

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		
担当教員	神部 智司、船本 淑恵		
配当	教福3	コード	12490
開期	通年	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	社会福祉援助技術現場実習の事前学習と事後学習		
目的と概要	事前学習において、現場実習の目的と意義を理解し、実習課題を明確にする。事後学習においては、現場実習の経験をふりかえり、実習の評価と課題の整理を行う。		
成績評価法	平常点・授業時のレポート・提出物:80% 実習記録:20%		
テキスト	『社会福祉小六法 2009』(出版社は指定しない)。 『国民の福祉の動向 2008年』/厚生統計協会		
参考書	随時紹介する		
履修に当たっての注意・助言	現場実習は、理論と実践をつなぎ、人間理解を深める総合学習です。そのため、他の専門科目と関連させて実習経験を理解することが必要となります。その心構えをもって実習指導を受講してください。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習のオリエンテーション 実習指導日程、決定した実習先と実習期間、実習開始までのスケジュールなどの確認や注意事項の伝達を行う。実習関係書類を配布し記入方法や取り扱いについて説明する。 2. 実習計画書について 実習計画書の目的と意義を理解する。計画書作成に向けて実習に期待することや各自の課題を整理する。 3. 実習計画書作成1 実習計画書を作成し、検討する。 4. 実習計画書作成2 5. 実習記録について 実習記録に記録すべき内容や記録の方法について理解する。 6. 事前オリエンテーションについて 現場実習期間前の各実習先オリエンテーションでの確認事項や注意事項を理解する。 7. 事前学習のまとめと実習開始にあたっての諸注意 実習に向けての心構え、実習中のマナーや健康管理、緊急時の対応などの確認と注意事項を伝える。 8. 事後学習のオリエンテーション 実習報告の目的と意義を理解する。実習報告書作成について理解する。 9. 実習報告1 実習終了者が実習報告を順次行い、実習経験を共有する。実習報告を通じて、社会福祉現場の現状と課題を学ぶ。また、今後の課題について整理する。 10. 実習報告2 11. 実習報告3 12. 実習報告4 13. 社会福祉現場の現状と課題 実習を通じて学んだ社会福祉現場の現状と課題を整理する。 14. 社会福祉専門職について 社会福祉現場で専門職に求められている役割や必要な知識、技術について整理する。 15. 実習報告会 実習報告と現場実習の総括を行う。次年度実習へ行く学生と合同で行い、意見交換をする。 			